

東三河地域におけるサテライト支援拠点の設立に向けた取組

- 2021年10月に設立予定の東三河地域の支援機関、企業、大学、自治体等で構成する「東三河スタートアップ推進協議会」を、ステーションAiのサテライト支援拠点として位置付け。
- 本年度から愛知県が当該地域に統括マネージャーを配置して、総合的な支援を実施中。

【東三河地域におけるサテライト支援拠点について】

＜当面の取組テーマ＞

「農業・食」

＜支援の考え方＞

- 東三河地域におけるスタートアップを創出・育成し、優秀なスタートアップの海外や地域外への展開。
- 世界や地域外から「農業・食」（地域の強み）に関わる有力なスタートアップや優秀な人材を東三河地域に呼び込み。

＜運営体制＞

- 東三河スタートアップ推進協議会は地域主体で運営。
- 当該推進協議会の構成員が中心となり、県外などにネットワークを持つ統括マネージャーや地域の関係機関がサポートする体制を構築。

＜今年度の主な取組案＞

- 「農業・食」を中心テーマとしたイベントの連携開催
豊橋駅前大通二丁目再開発により新たに整備される拠点（emCAMPUS）のオープン（11月頃）にあわせ、一定期間「農業・食」を中心テーマとした複数のイベントを各機関が連携開催する。ここで、東三河サテライト支援拠点の取組等をPRし、スタートアップのエコシステム形成を後押し。
- スタートアップの成功事例創出の推進
東三河地域における地域の強みを生かしたスタートアップの取組について、統括マネージャーの知見や、地域の各機関の持つリソース等を活用した支援を行うことにより、地域を挙げて成功事例を創出。

